

文化資本の強化なくして 地方経済再生なし

～文化の多面的な機能～

文化事業ディレクター・演出家 吉川由美

八戸ポータルミュージアム はっち

新たな交流と創造の拠点

青森県八戸市がこのまちらしく輝くために、
地域の資源を大事に思いながら、
まちの新しい魅力を創り出す場所



地域の資源

(文化、人、モノ、食、自然…etc)
を大事に思いながら
新しい魅力を創りだす

地域の資源を活かす

市民とともに創りあげる

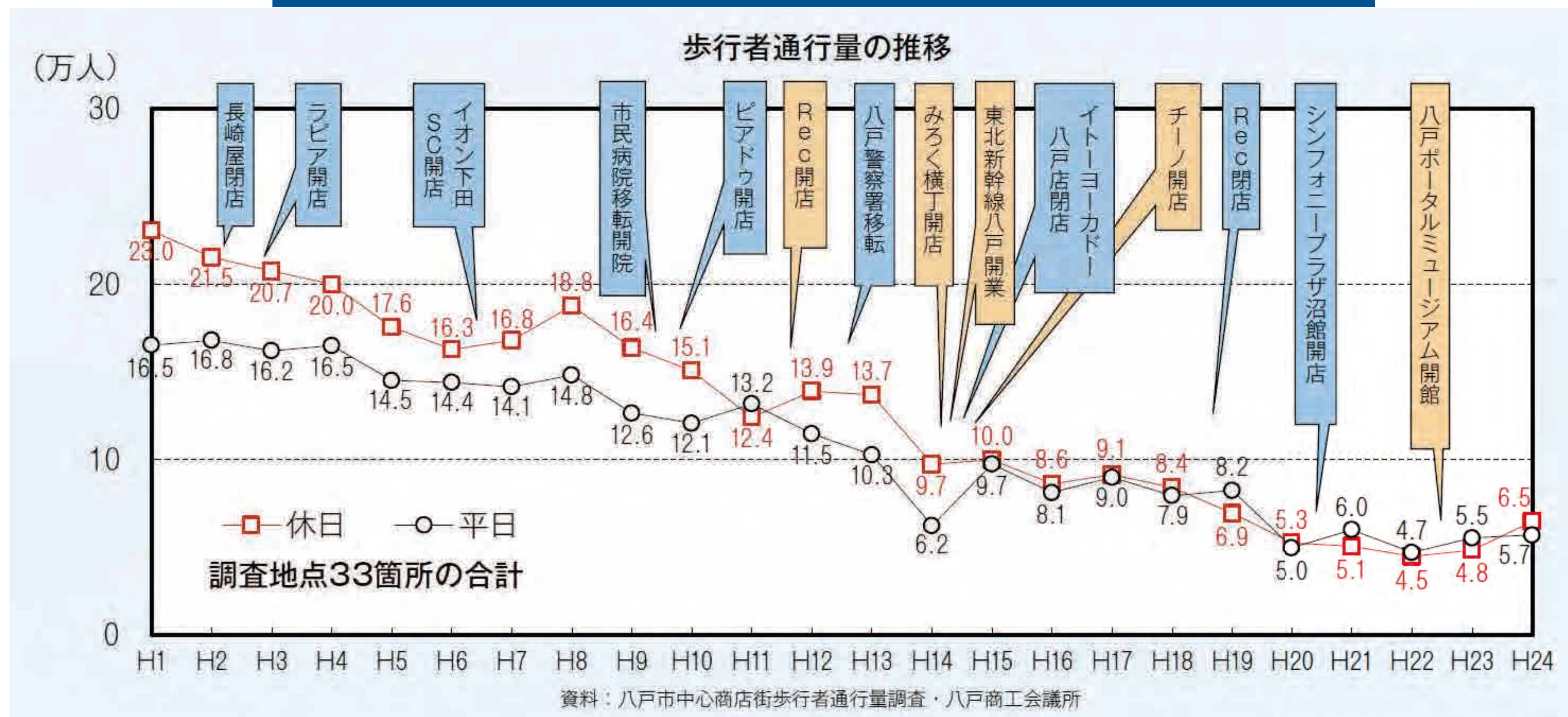
まちなかを回遊してもらおう

はっち建設の背景

中心市街地の衰退 歩行者通行量の減少

- 中心市街地の歩行者通行量は、平成に入って大幅に減少。
- 特に日曜日の落ち込みが激しく、**20年間で3分の1に!**

八戸市中心市街地 33地点の歩行者通行量の推移



八戸市新美術館整備事業

出会いと学びのアートファーム

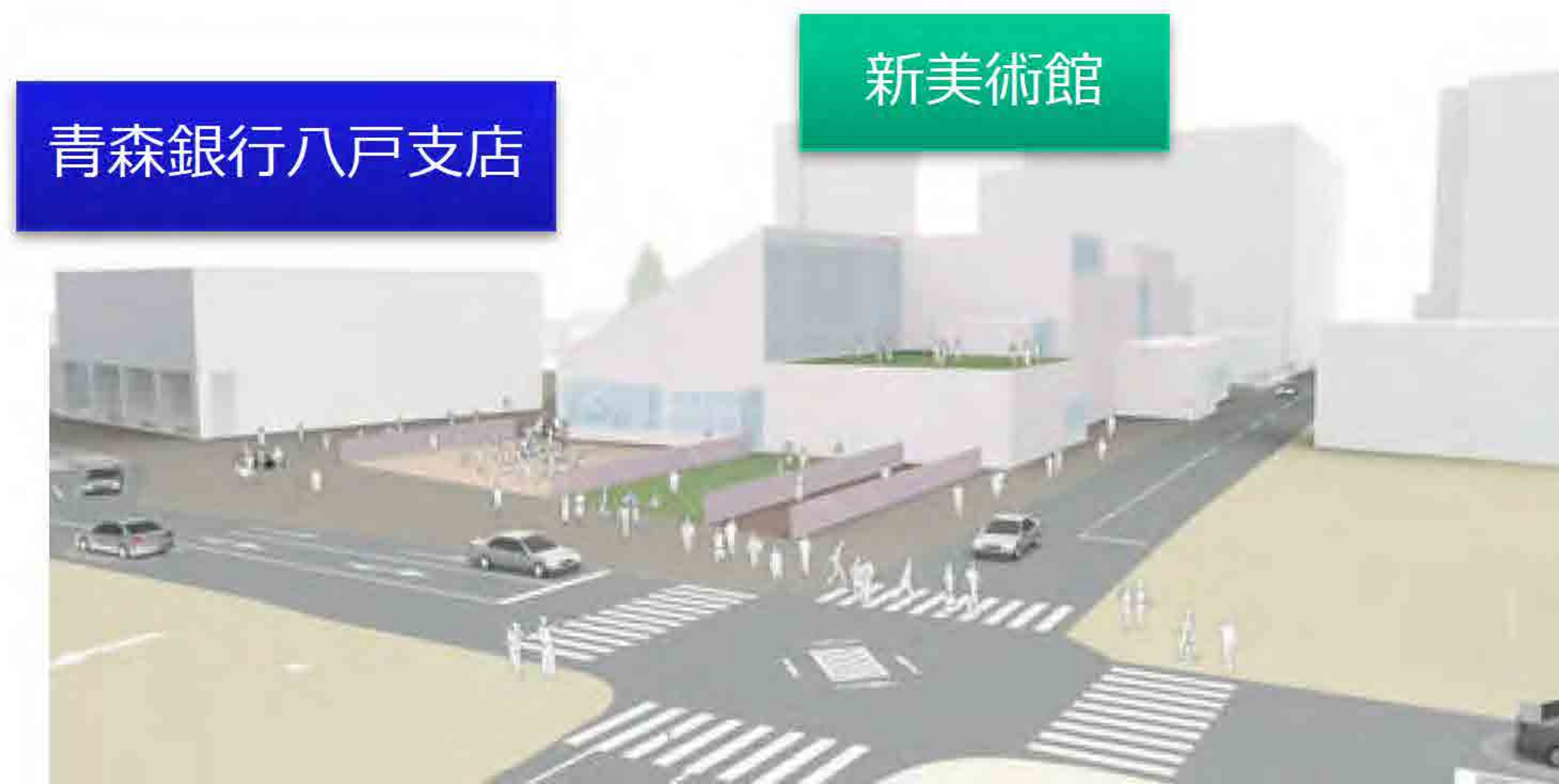
地域に根ざしながら、地域固有の美を発見と共有する場
アートを媒介に人を育み、新たな価値を育む場
地域の芸術文化を未来に継承する場
多様な価値観に出会い、互いに尊重し合える場。

- 新美術館の整備は、市内外の注目度が高く、全国から多くの提案（138者）が寄せられた。
- 西澤徹夫建築事務所・タカバンスタジオ設計共同体」が設計。



▲外観イメージ図

◀配置イメージ図



IT・テレマーケティング関連産業の立地相次ぐ

近年、中心市街地を中心にIT・テレマーケティング関連企業の立地が進んでいる。

IT・テレマーケティング関連企業（13社）

 WATER ONE Speed, through, and challenge	コールセンター
 Surround	IT×物流業務、カスタマーサポート
 TelWel NTTグループ テルウェル東日本	コールセンター
 TRUEGIO	インターネットリサーチ、事務業務受託(BPO・KPO)
 NORTHERN LIGHTS	SEO対策、web広告審査
 株式会社Blazing	コールセンター
 マネックス証券	事務センター、カスタマーサポート
 marsh 株式会社マーシュ	モニターリクルート
 YAHOO! JAPAN	ポータルサイト、コンタクトセンター
 regain	コールセンター、マーケティング
 NTT東日本サービス	コールセンター
 パマンショップ	データエントリー
 フルタイムシステム	コールセンター、データエントリー



上記関連企業**13社中12社**が中心街付近に立地
 中心街での雇用人数は **約1,200人** (平均年齢は、**34歳**)

中心市街地の路線価及び地価ともに上昇！

2018年分（1月1日現在）の路線価が青森県内では、**八戸で25年ぶりに前年を上回った。**
 県内地価（基準地価）においても、**県内中心部商業地で唯一前年を上回った。**

青森県内7税務署管内の最高路線価

（1平方メートル当たり、単位は千円、増減率は%、▲はマイナス）

所在地	2018年分	2017年分	増減率
青森市新町一丁目(新町通り)	155	155	0.0
弘前市駅前三丁目(駅前商店街通り)	87	87	0.0
八戸市三日町(三日町通り)	105	100	5.0
黒石市一番町(駅前通り)	21	22	▲4.5
五所川原市大町(大町通り)	37	37	0.0
三沢市松園町三丁目(300-ト商店街通り)	33	33	0.0
むつ市小川町二丁目(国道338号通り)	31	31	0.0

八戸・三日町 地価上昇

中心街への“集中投資”に期待感

県内中心部商業地で唯一



青森県内の市中心部の商業地で唯一地価が上昇した「八戸市三日町4の1」付近。中心街再生への期待の高まりが背景にある＝18日

18年ぶりに上昇地点

国土交通省と青森県が18日に発表した県内地価（基準地価）で、「八戸市三日町4の1」の価格（1平方メートル当たり）が前年より約10%上昇し、13万円となった。青森県内市町村の中心部の商業地で地価が上昇したのは同日時点のみで、2月1日に公表された公示地価に引き継ぎ上昇した。地価の上昇は郊外の商業地の価格上昇が目立つ中、八戸市中心部の価格が上昇となった背景には、「三日町の八戸まちなか広場「ママチャリ」整備など市の「中心街再生」による中心街再生への期待の高まりがある。

同地価は昨年の商業地価からの調査対象と比べており、市内の商業地では地価トクフ。県全体では3番目に高く、県内の地価上昇は地価の昨年から価格が上昇したのは三日町だけだった。

県内商業地の地価は、バブル崩壊直前やリーマン・ショック後の経済低迷に伴って減少傾向が続いていたが、支店展開の競争激化や「アベノミクス」などの政策により、2014年以降は地価が回復し、18年ぶりに上昇地点が出た。

一方、大規模商業地の地価は、郊外の土地価格が高まっていることや、県内中心部で地価が上昇した。青森市、弘前市、黒石市、八戸市以外のほとんどの市町村は、地価が下落した。八戸市は、中心街再生の期待が高まっていることが背景にあると見られる。

はっちの
アートプロジェクト

八戸の
地域資源を
再発見

八戸の
中心街を
みんなの
関心空間に

フラットな
交流と対話
の場を創出